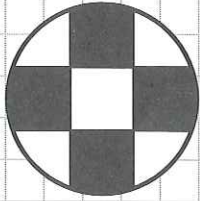


一般社団法人全日本囲碁協会機関紙



日本の碁

平成 26 年 8 月 14 日発行

第 3 号

正会員総会

囲碁は人生のサプリメント



理事長 菊池康郎

予定されていた7月14日の正会員総会が無事終わりました。現段階で16名の会員中、欠席5名。1名は代理人出席です。

自己紹介のあと、議長菊池、司会桑原、書記相場のもとで議事を順調に消化し、続いてフリートーク、懇親会へと進みました。

そのなかで、皆さんが最も精彩を放ったのはフリートークの場面です。碁席の経営問題では、客層の大半を占めている高齢者や、女性、子ども、外国人への対応問題がこれからの焦点となります。また、団体客や喫煙者への対応もまちまちで、さまざまな案が出されました。

日本の伝統文化としての囲碁を海外へ発信するときにも、しっかりとした組織を作っておく必要性はみなさんが感じておられたようです。このことは、全碁協が囲碁のゲーム性を追及するのではなく、豊かな人生へのサプリメントとして囲碁を考える基本方針と合致しているといっていでしょう。なすべきことは山積しています。

近い将来、全碁協のホームページを立ち上げる件に関しても、具体的な方法については理事会一任となりました。

社員と会員との区別についてはのちに報告しますが、法律上のややこしい問題もしだいにクリアーでき、全碁協も形が整ってきたようです。

目的と事業

定款の目的と事業は次の通りです。確認しておきましょう。

第3条(目的) 当法人は、広範囲の年齢層に囲碁を普及し、その効用を啓発して人間形成に役立てることを目的とする。

第4条(事業) 当法人は、前条の目的を達成するために、次の事業をおこなう。

- (1) 自己開発による能力向上、視野拡大、挫折に対する耐性の修練などのための啓発事業。
- (2) レクリエーション効果による精神的身体的影響の調査とその周知事業。
- (3) 目的設定による気力増進、認知症発生抑制に関する調査研究とその周知事業。
- (4) 世代間、地域間の交流を促進する断絶解消事業。
- (5) 競技囲碁の発展を主とする団体と一線を画しながら、当法人の目的に合致する部分での連係事業。

正社員総会報告

第1回正会員総会

日時 7月14日、午後3時
場所 いずみ囲碁ジャパン

出席者

菊池康郎(代表理事)
山口晋(理事)
塩崎泰朗(監事)
内久根孝一
藤崎三佐雄
滝沢千晴(代理日下律子)
牛山修
及川尚
大沢完治
桑原青人(理事)
相場一宏(理事)
欠席者
平田信子
堤加蓉子
広瀬恵一
出口雄司
須崎善治

1、理事長挨拶

知っている人、知らない人が半々ですが、これから協力して会を発展させていくため、今日は日頃考えていることを積極的に話してください。

2、自己紹介

山口晋 東京都囲碁同業組合で4期理事長を務めました。次に理事長を要請しようとしていた喜代田氏が倒れ、しばらく理事長不在のまま経過したこともあり、今回の社団法人転換はいい機会だと思っています。

塩崎泰朗 組合の理事長代理と事務局長を兼ねていましたが、2度の大手術で体力が続かなくなりました。現在の全基協監事も後任が決まりしだい辞任するつもりです。
内久根孝一 交通の便がいいので、今日は会場を提供しました。(費用辞退)
藤崎三佐雄 習志野にクラブを開いて、もう33年にもなりました。

滝沢千晴 よんどころない用事が

生じ、代理に日下律子さんをお願いしました。(日下)、かつて碁席を経営したこともあり、現在、イタリアと日本をほぼ半分に居住しています。

牛山修 碁席を開いて、16年経ちました。

及川修 碁は14年ほど前に覚えませんでした。

大沢完治 緑星学園さいたま教室を兼ねています。娘はプロ棋士(大沢奈留美四段)で、菊池先生にお世話になりました。

相場一宏 昭和36年に初めて『棋道』の原稿を書きました。現在は囲碁ライター協会や囲碁史会、新聞観戦記など、碁に関するさまざまなことに手を出しています。
桑原青人 いろいろな事業を試みましたが、中心は常に碁席でした。

が決まるまで続行とのこと。

b、新理事選出の件 菊池、山口、桑原、相場は留任。新たに、内久根、藤崎、滝沢が選出されました。なお、職務分担については、新理事会で決定されます。

4、機関紙『日本の碁』の件

相場理事が今後の方針を提案し、了承される。

a、月一回の刊行を堅持。
b、碁の文化的側面に焦点を合わせる。

c、最終ページに、会員の紹介する人の文章を載せる。
d、碁の技術面にはあえて触れない。

5、会計報告

収入の部
寄付金
二〇〇、〇〇〇円(旧東京都囲碁同業組合)
一〇〇、〇〇〇円(緑星学園)
年会費
一四四、〇〇〇円(正会員16名中12名分)
四〇、〇〇〇円(賛助会員4名分)

広告収入

五、〇〇〇円（機関紙第2号1段分）

計 四八九、〇〇〇円

支出の部

一九八、五〇〇円（公証人、法務

局証本手数料。事務用品、その

他諸経費―五月一〇日迄）

八六、七〇一元（機関紙第1号刊

行諸経費―七月二三日迄）

計 二八五、二〇一元

残高 二〇三、七九九円

6、協会の活動方針について

話題が広範にわたるため、議長、

司会、書記を解任。フリートーク

ングに切り替える。

主な話題

a、正会員の資格を、将来はもつ

と枠を広げてもいいのではな

いか。

b、全基協のホームページを作

るべきだが、その態勢をどの

ように整えるか。

c、棋力別の教室だけではなく、

年次別の別指導も考える。

d、組織をさらに整備し広範化

しなければ、伝統文化の円滑
な継承はむずかしい。

e、多様な入場者のコミュニ

ケーションのキーポイント

は、相互の挨拶ではないか。

f、他組織との連係は、まず個

人的に接触するなどして調査

し、全基協の正式な申し入れ

については理事会で改めて検

討する。

このあと、席を移してからも談

論風発。みなさん、それぞれに得

るところがあったようです。

第1回社員総会

社団法人では、社員と会員はち

がいます。本紙でもその点が明確

でなく、混同さみでした。

社員というのは設立時、登記に

必要な人員で、2名以上です。全

基協では、山口晋と桑原青人とし

た。その後に菊池康郎を加えて、

現在3名。その社員が会員を募集

し、理事を選出して理事会を構成

し、理事会によって正会員総会が

開催されたというのが、これまで
の経緯です。

機関紙の第2号でも触れました

が、定款や議事録の正確な書式は

まだ把握していません。いず

れ専門家の指導を受けながら作成

する予定ですが、ここでは略式の

第3回理事会の議事録を掲載して

おきます。

なお、正式の議事録が作成され

たのちは、事務所に保管し、だれ

でも閲覧できるようにします。

第3回理事会

日時 7月1日

場所 協会会議室

出席者 菊池康郎、山口晋、桑

原青人、塩崎泰朗、相場一宏

決議事項

1、菊池康郎を社員として承認

する。

2、正会員総会の日時決定。

3、正会員総会の議題について

ほぼ決定。ただし、第1回で

もあるので、自己紹介とフ

リートークを重視する。

報告が前後した部分もあります

が、いちおうさまざまな手順を踏

んでいることをお知らせします。

社員総会、理事会、正会員総会

までを経て、これまでのところは

順調に内部を整備し、外部へのP

Rをおこなえる態勢が出来あがり

ました。目標とする公益法人の取

得にも、一歩一歩近づいていると

いっていいでしょう。

しかしまだ、会員の絶対数が不

足ですし、会員が首都圏の近傍に

偏っている嫌いがあります。いま

理事会は全国へ向けての発信を計

画していますが、会員の皆様も個

人的な絆を会員数増加につなげる

ことを大いに考えてください。

今年の酷暑と騒々しい世界的環

境から一時的に離れ、個人の生き

かたに関与する囲碁の役割りを静

思してみたいものです。

次号では着々と増加する会員の

状況と、今後の展望についてさまざ

まに考えてみたいと思っております。

会員名簿

7月末現在、正式に加入を表明している正会員、賛助会員、賛同会員の名簿です。順不同。

正会員

菊池 康郎【緑星囲碁学園】
(全日本囲碁協会代表理事)

東京都中野区

03(3360)1555

塩崎 泰朗【東山囲碁サロン】

全日本囲碁協会監事

東京都目黒区

03(3713)4800

山口 晋【前下北沢囲碁セン

ターナー】

全日本囲碁協会理事

東京都世田谷区

03(3429)8257

相場 一宏

(全日本囲碁協会理事、囲碁ラ

イター協会名誉会長・囲碁

史会運営委員・天元戦新人
王戦観戦記者

茨城県つくばみらい市

0297(58)8254

桑原 青人【碁席秀策】

全日本囲碁協会理事

東京都新宿区

03(3232)8745

平田 信子【平田碁会所】

埼玉県蕨市

048(431)8496

藤崎三佐雄【津田沼囲碁クラブ】

千葉県習志野市

0474(75)5255

須崎 善治【丈和】

東京都東村山市

0423(95)4635

堤 加容子【燦々】

東京都国立市

0425(76)5591

内久根孝一【いずみ囲碁ジャパン】

東京都中央区

03(5202)6093

滝沢 千晴【新宿囲碁センター】
(NHK学園・囲碁学苑講師)

東京都新宿区

03(3349)4977

広瀬 恵一【囲碁サロン欄柯】

東京都目黒区

03(3715)8610

牛山 修【囲碁サロン道玄坂】

東京都渋谷区

03(3780)3691

及川 尚【囲碁サロン絆】

東京都杉並区

03(6768)1511

大沢 完治【囲碁サロンさいたま】

(NPO日本青少年囲碁協会理事、
NPO埼玉県青少年囲碁協会理事)

さいたま市中央区

048(857)1518

古長 俊雄【日本橋本町囲碁サロン】

東京都中央区

03(3639)1811

賛助会員

野口 雅人

内野 真理

坂野 恭子

二火会(吉田慎次郎)

出口雄司

賛同会員

碁柳会(松本昭男)

飯塚 あい

香山 由志子

小林 千鶴

青木 勝

今井 速人

光井 一矢

神田ソーシャル棋苑(福井三男)

東京囲碁会館(安永一、久保田とし子)

人形町囲碁倶楽部(喜代田高明)

駒沢大学囲碁部OB会(曾我部敏行)

◎会員の特典

情報交換会・親睦会への参加

機関紙の配布

囲碁書籍、囲碁グッズ販売等で

の割引き仲介

機関紙への意見発表

機関紙への広告3割OFF

高齢者、女性、子ども教室に対

する自治体との交渉を援助

その他、申し出があれば理事会

で考えます。

囲碁中散歩

三井 一矢



初代本因坊(二)

初代本因坊算砂と関わりが深い戦国武将といえば徳川家康です。江戸時代の基礎を築いた家康は囲碁や将棋を好み、碁打ちたちにも俸禄を与えた。家康がいなければ現在の囲碁界はどのようになっていたかわからない。

家康が囲碁を始めた時期は定かではないが、はじめ家康はあまり碁が好きではなかったらしい。人が碁を打つものを見るにつけても、周囲に迷惑を与えるだけで何の役にも立たないと決めつけ、これを

好む人は間抜け者のように思っていたという記述もある。

〔家康は〕概して無用の遊びは好まなかった。ときには申楽(能楽)や囲碁・将棋などを暇つぶしに遊んだが、深く心にとめたわけではない〕

別の条には、

〔織田信雄のように、織田家をつぶし、國の統一も果たせず、能ばかりうまくなくても何の益があるうか。まぬけ者というべし。徳川殿は雑技(囲碁や将棋などをふくむ雑多な遊び)に心をうばわれず、つねに弓矢を取らせては家康の上に出る者はいない。皆の衆、小事にかまけて大事にうといということは、これ又まぬけ者というべきだ、と戒められた〕

これは編者の偏見が多分にあるのではないかと思われる。

戦国の世では囲碁や将棋、または茶などよりも武芸の方が大事と考え、家康は遊芸よりも武を好む

というイメージがあったが、家康の違った側面を見ることが出来る。

家康の囲碁の記述がはじめて見られるのは『当代記』の天正十五年閏十一月十三日である。前年には、家康と秀吉が大坂城で会見し、この年は北野大茶会が催されている。戦乱もようやく鎮り、家康も遊芸を楽しむ時間が生まれできたのである。

家康の最初の囲碁記述である。

〔碁打ちの本因坊新城江下、亭主九八郎信昌、此夏於京都為碁の弟子の間如此、則令同心駿河江被下、家康公囲碁教奇給間、日夜有碁〕〔本因坊(算砂)が新城へ下ってきた。(奥平)九八郎信昌がこの夏、京都において算砂の弟子になったことから、算砂を駿河へ呼んだ。家康公は囲碁を好まれ、日夜打たれた〕

この記述により、家康は囲碁に熱中していたであろうことが見られる。算砂が駿河に逗留しているあいだに手ほどきを受けたものと

思っていだろうか。入門直後に、日夜打たれた、というほど熱中するとは思えないので、この当時家康はそれなりに打っていたのであろう。

ここに出てくる奥平九八郎信昌は家康の娘亀姫を娶っており、また信長にも目をかけられており「信」の一字をあたえられた。長篠の戦の折、長篠城に籠り武田軍と戦った人物である。この奥平信昌は本因坊算砂の門下となっており、算砂と家康を引き合わせたとしても不思議ではない。信昌が家康に碁を教えたとも考えられている。家康には多くの武将との囲碁についての逸話があり、碁敵と呼ばれる武将も多かった。それらは次回以降に回そうと思う。

豊臣秀吉と家康が対局したと伝えられている碁盤がある。

実際に対局があったかは不明だが、豊臣家と徳川家の家紋が碁笥に刻まれている。この碁盤は京都大徳寺龍源院に展示されている。

囲碁の医学的効用

東京都立神経病院 飯塚 あい



このコーナーも第三回目となりました。今回は、2014年7月19日〜21日に岩手県大船渡市で行われた「碁石海岸で囲碁まつり」に関するお話をしたいと思います。

これは木谷実九段の末の息子である木谷正道さんが主催された囲碁イベントです。東日本大震災で大きな被害を受けた大船渡市を、囲碁の力で活気づけようという復興支援を目的として開催されました。背景には、復興の一環として大船渡市を「囲碁のまち」にしようという大きな試みがあります。

大船渡市には、碁石海岸という名称の、波によって削られた石や岩の形が碁石に似ているという理由から名前をつけられた海岸が存在します。囲碁に縁のあるこの地を、囲碁の力で活気づけようというのは、まちの特性を活かす素晴らしい発想であると思います。

このイベントでは、謝依旻女流二冠らによる百面打ち指導碁や、碁盤・碁石を乗せて走る囲碁列車、視覚障害者記念対局、各専門家による住まいの何でも相談室など、被災地ならではの企画で目白押しであり、その中でも「被災地と認知症〜囲碁療法の可能性」という講演をさせていただきました。

講演をするにあたり被災地の方々の生の声を聞き、現状をみせていただいたところ、多くの事実が明らかになりました。特に、私の脳神経内科の専門分野に関連する部分では、震災後、新しく認知症を発症する人や、認知症の症状

が悪化している患者さんが著しく増加している現実があります。その理由には、引越などによる環境の変化、仕事や家族を失うことによる生きがいの喪失などがあります。これらのことで、不安や興奮が生じたり、活動する意欲を失ったり、徘徊するなどという症状が出るそうです。さらに感じるのは、高齢者にとって住みやすい環境とはいえないということですね。仮設住宅がどこも似ていて、自分の部屋がわからない、足場が悪いといったことで、ますます外出する意欲を失います。家で無為に毎日過ごすことは、認知症の発症にもつながるのです。

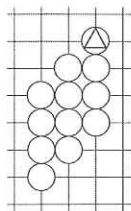
これらの問題に対し本イベントでは、悪循環をたち切るひとつのきっかけづくりという目的がありました。今日も囲碁を打つために外に出よう、あの人と対局するのが楽しみだという思いは、被災され様々な思いを抱えている現地の

みなさんの生活に、彩りを加えることになるのではないのでしょうか。

今回の碁石海岸で囲碁まつりは、300人を越える大盛況となり、多くの地元の方々に喜んでいただけるイベントとなりました。「囲碁をすることで元気をもらえました」という言葉は、まさに心身のケアという囲碁療法の根本につながるのだと感じました。また、それは、人とのつながりが薄れ行く日本、世界の課題でもあります。人々の生きがいをつくり、孤独を防ぐために囲碁を用いる、これは健康増進の他に、防災にもつながることだと感じています。

大船渡市では、今後小中学校で囲碁授業を開催するほか、旅館、福祉施設、市役所などで碁盤碁石を設置することで、住民がいつでも囲碁を楽しめるよう、まちづくりを進める予定です。ぜひ、機会があれば、囲碁のまち大船渡を訪れてみて下さい。

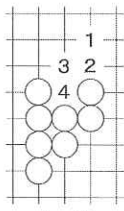
碁石パズル



問題図

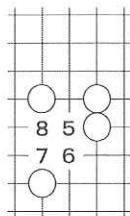
石拾いパズルの第2問です。問題図の白△から石を拾い始め、最後まで拾うのですが、真直ぐ拾って後戻りしない、空間はあいていてもいい、というルール。

1図 まず1から4まで拾います。ここで、右や左に曲がってはいは全部を拾いきれないことを確かめてください。



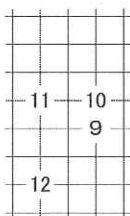
1 図

2図 5、6と進み、それから7、8と拾っていきます。ここまでくれば、もうあと一息となりました。



2 図

3図 9に飛ぶ手に気付くかどうか。これを11へ直進しては、全部拾えなくなります。



3 図

囲碁川柳

碁柳会では、色紙に柳句と俳画風の絵を載せ、二十あまりを一斉に展示するパフォーマンスもおこなっています。絵はNHKの碁柳句選者として知られる春風亭華柳師匠。洒脱な絵が句をいっそう引き立てます。

これまで、日本棋院本院やさまざまな囲碁サミット（全国自治体の街おこし、人おこしの集会。今年の第九回は秋田県大仙市）にも出品し、好評を博しています。

七月例会から

兼題は「爪」

美人杯おしゃれで勝負と

爪磨く（民子）

昨年から始まった勝負美人杯。

良いネーミングだと評判です。

爪で知る暮らしのさと

碁の品位（庵小僧）

立居振舞優雅な打ちぶり、とは

深窓の令嬢か。

囲碁ガールネイルアートも

花六に（句之介）

ナカデと見るかダングと見るか

の下句あり。

那智黒にマニキュアの赤

よく映り（華柳）

スタンダールの「赤と黒」を連

想した人が多いらしく、僧と兵に

は囲碁ファン多々、などの下句も

ありました。

半目負け詰めのに甘さに

爪を噛む（K介）

ごもつとも。

榎盤にミケの抜け毛と

爪の跡（句之介）

しかも日向六寸盤ともなれば、

叩き殺して三味線にする、の下句

は当然ですかね。

武宮の爪垢飲んで

禿になり（蛙遊）

面白いが禿では悪いので、毛が

抜けるくらいでどうでしょう。と

いうコメントあり。

爪弾きに石音合わせ

日向ぼこ（こすみ）

明治の妾宅ですかね。庭には猫

と見越しの松と、の下句。現代で

は無理でしょう。

兼題の方に句が集まって、自由

題は不振でした。

質屋の碁生きの妙手は

一の六（句之介）

鶴翼は逆さに読めば

欲をかく（華柳）

投了が敗着

実は勝っていた（K介）

理屈はくって飛躍に乏しい、と

いう評もあったようです。

囲碁ってなんだろっ

及川 尚

老若男女にかかわらず囲碁を知らない人は、最初に碁盤碁石を見たとき、用途の見当がつかないのがふつうだ。盤上の線、黒点、白と黒の円形物。「これは一体、なんだろっ」。生を受けた赤子が初めてこの世を見ると、同じ感があるのではないだろうか。

その赤子を親は慈愛をもって育み、世の中を少しづつ教え、成長を楽しみに待っている。囲碁もこれと同じではないだろうか。盤上の線、黒点、白と黒の円形物はなにかと教え、どう使うのかと教えるのを目的とするかを教え、成長を楽しみにしている。

成長が進んでくると、当然ながらこれまで教わったことに、「なぜ、どうして」という質問が多くなる。

そのような質問を受けたときには面倒がらず、一緒になって学習

していくことが大事なのではないか、と昨今は思うようになった。

「ああっ！ 囲碁はむずかしい」「ああっ！ 人生はややこしい」

でも、両方ともじつは楽しいものなのです。

皆さん、囲碁と人生を大いに楽しませよう。

弱くても楽しんでます

香山由志子

私が碁を覚えたのは25年前、日本棋院にアルバイトとして勤務してからのことです。職種はカメラマン（いまはカメラパースンというようです）ですが、プロの対局を終局時に撮るときなど、せめてどちらが勝っているかくらいは知っておきたいと思ったのが一番の動機でした。

写真課（いまはありません）の上司に教えられました。先生もかなり弱かったようで、だれかに冷かされました。「正師を得ざれば学ばざるにしかず」

ルールをある程度知ってから、編集の人たちに何度も打ってもらいましたが、頭が悪いのか、性格がよすぎるのか、少しも強くなりません。ある時は7級、あるときは15級。負ければそれ相応にくやしいのですが、勝つてもさほどうれしくはなく、いまは一年に教回の対局です。

おまけに、考えているときにぶつぶつ独り言をいう癖があるらしく、みんなに「バレバレだよ」と笑われます。

むしろ、大会などに引っぱり出されたとき、一緒にお酒を飲むのが楽しい。みなさんの話題に多少付いていけるのも、碁を知っているプラス面です。

それよりもなにより、碁を知ったことで多くのお友だちができました。なにか共通項があれば、人は友人になりやすい。カメラマンとして女性大会の写真を撮った人たちと、年賀状のやりとりをするだけでも碁を覚えたかがあるようにも思います。

編集後記

正会員総会の際に提案した会員原稿を、「囲碁サロン絆」の及川さんに早速いただきました。碁席を経営する経験から、つくづく感じたことなのでしょう。

なんだかんだといっても、本紙も3号となりました。少しずつ内容が整備されていると思うのですが、まだ遠いのも確かです。

しばらくはこの形で経験を積んでから、全碁協とともに本紙も大飛躍を遂げたいと思っています。

（相場一宏）

『日本の碁』

第3号

発行人・菊池 康郎

編集人・相場 一宏

平成二十六年八月十四日

〒160-0021

東京都新宿区歌舞伎町一―二四―二
西武ビル六F

全日本囲碁協会

〇三（三三三三） 八七五五